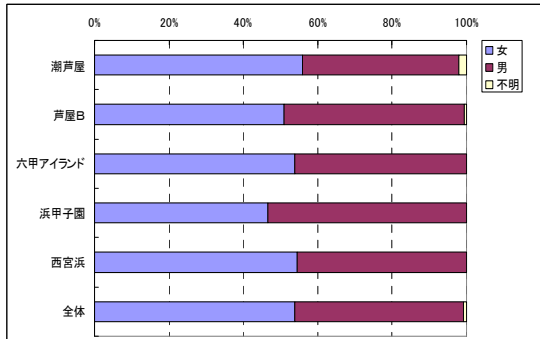


■回答者の属性について

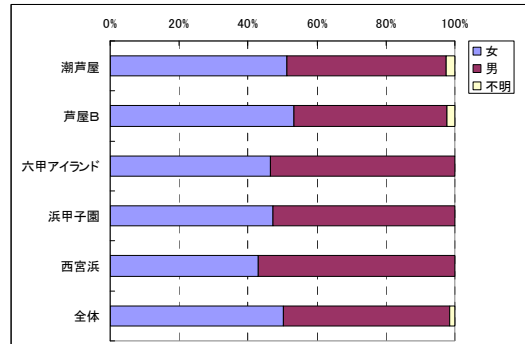
[性別]

- ・地区によってバラツキがあるが、おおむね男女半々の回答が得られている。

<全体>



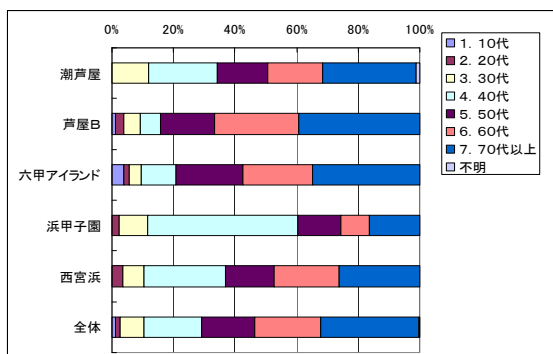
<戸建のみ>



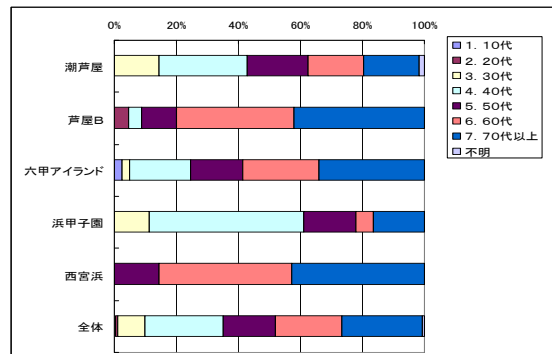
[年齢]

- ・各地区の開発時期を反映して年齢分布は様々である。たとえば現在開発中の潮芦屋の 30～40 代の回答者は多い。ただし、いずれも住宅地において 50 代以上が結構多いことから世代間の交流の場の整備が必要と考えられる。

<全体>



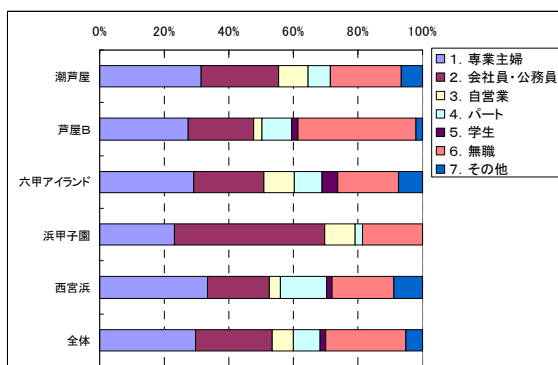
<戸建のみ>



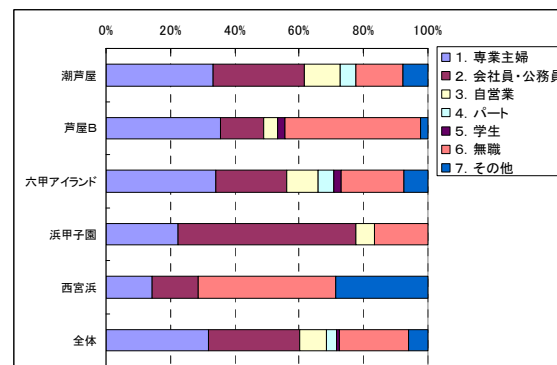
[職業]

- ・会社員・公務員の割合が高いのだが、年齢に対応してか無職の方も多いのがわかる。

<全体>

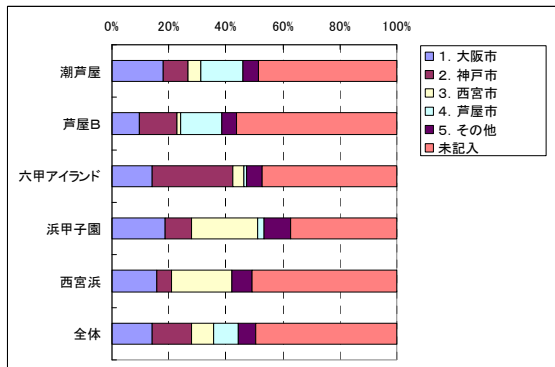


<戸建のみ>

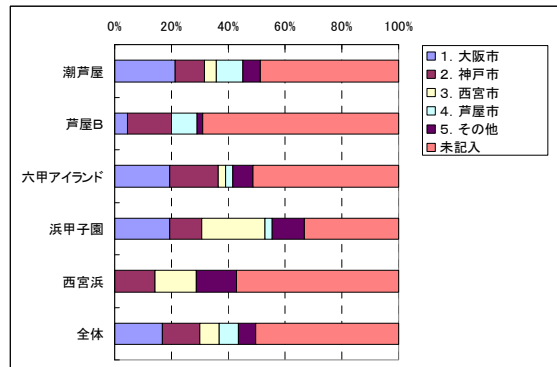


[勤務先]

<全体>



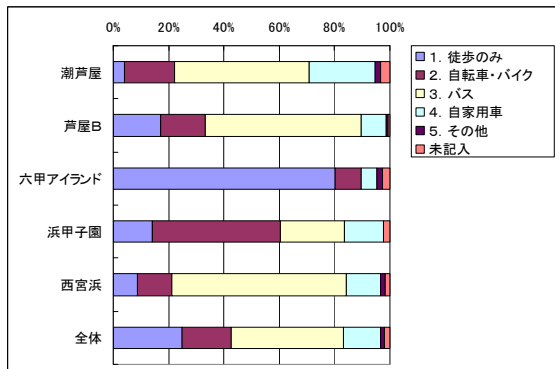
<戸建のみ>



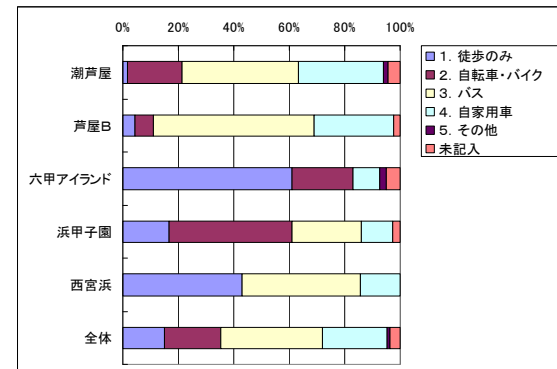
[最寄駅までの交通手段]

- ・各地区での最寄駅までの距離はさまざまであるので、それに応じて“徒歩のみ”の回答がばらついている。とくに潮芦屋では徒歩の割合が最も低く、バスや自家用車の利用が多い。

<全体>

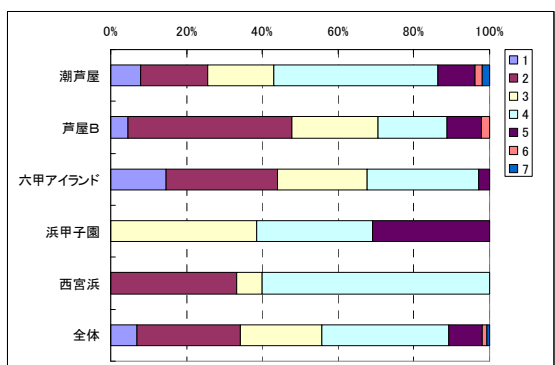


<戸建のみ>

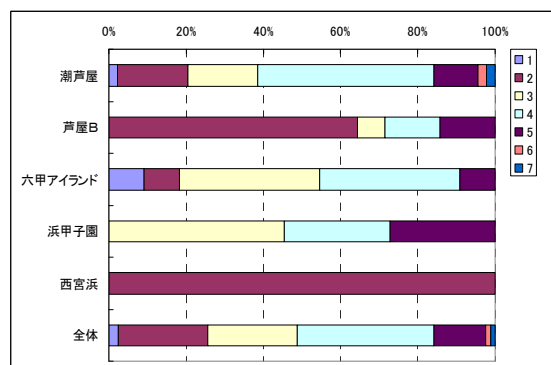


[世帯人数]

<全体>

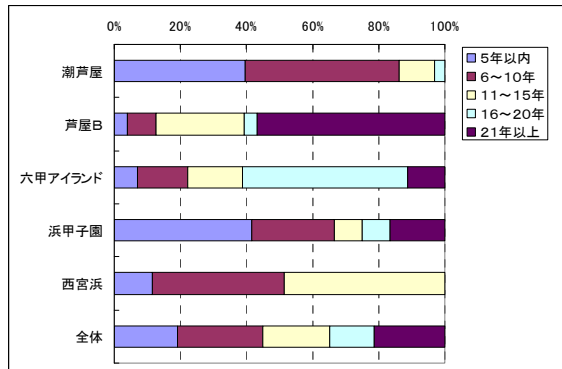


<戸建のみ>

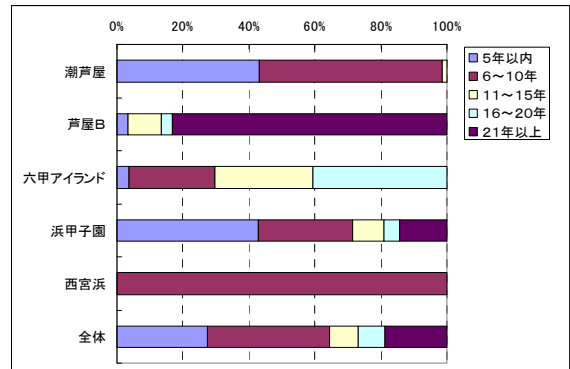


〔居住年数〕

＜全体＞



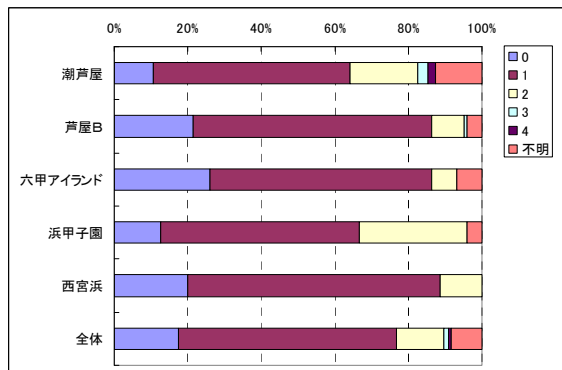
＜戸建のみ＞



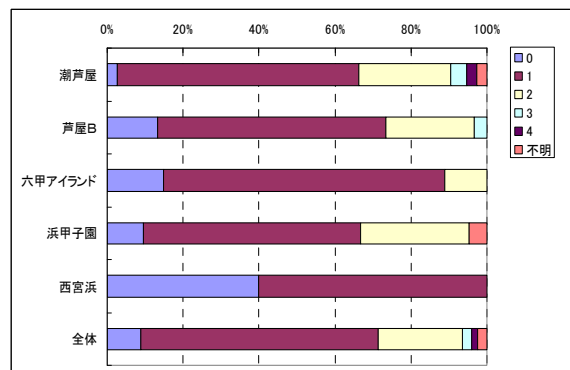
〔自家用車の台数〕

・ほとんどの世帯が車1台を所有しているが、所有していない、あるいは2台以上保有している世帯も存在していることがわかる。

＜全体＞



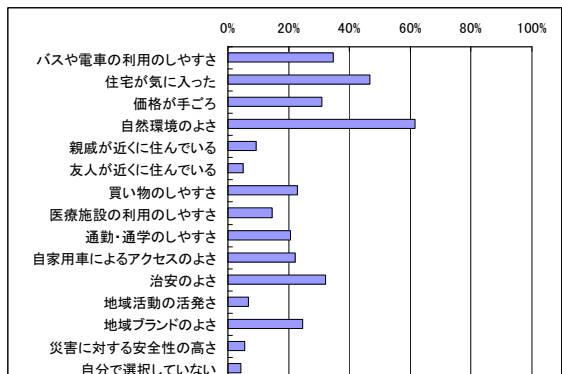
＜戸建のみ＞



〔居住地の選択理由（戸建のみ）〕

・「利便性」や「価格」の回答が高いのは一般的であるが、それ以外に、「自然環境の良さ」や「地域ブランドの良さ」の回答が高いのが注目される。

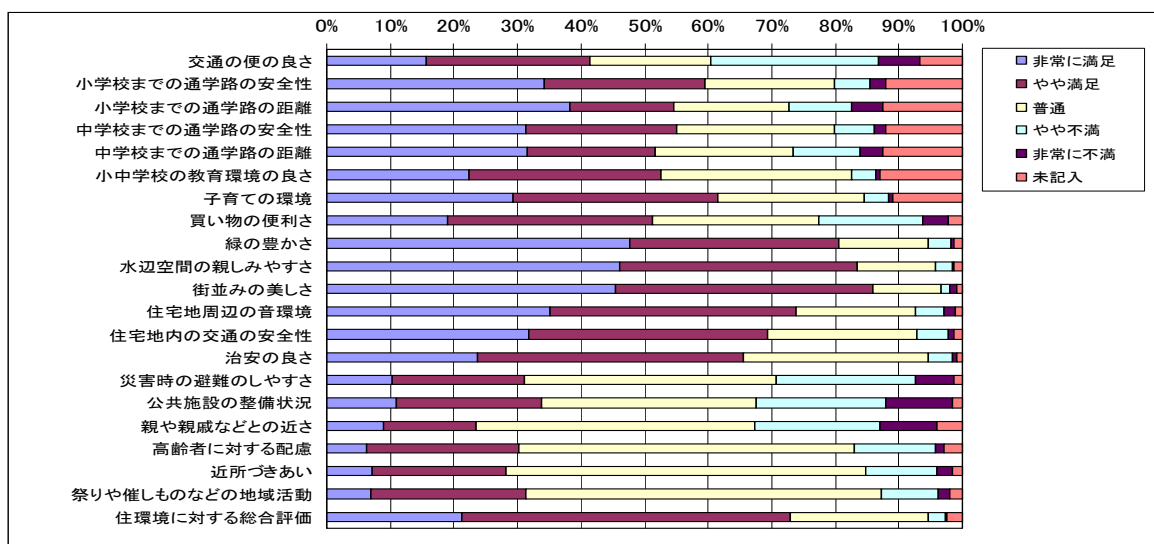
＜全体＞



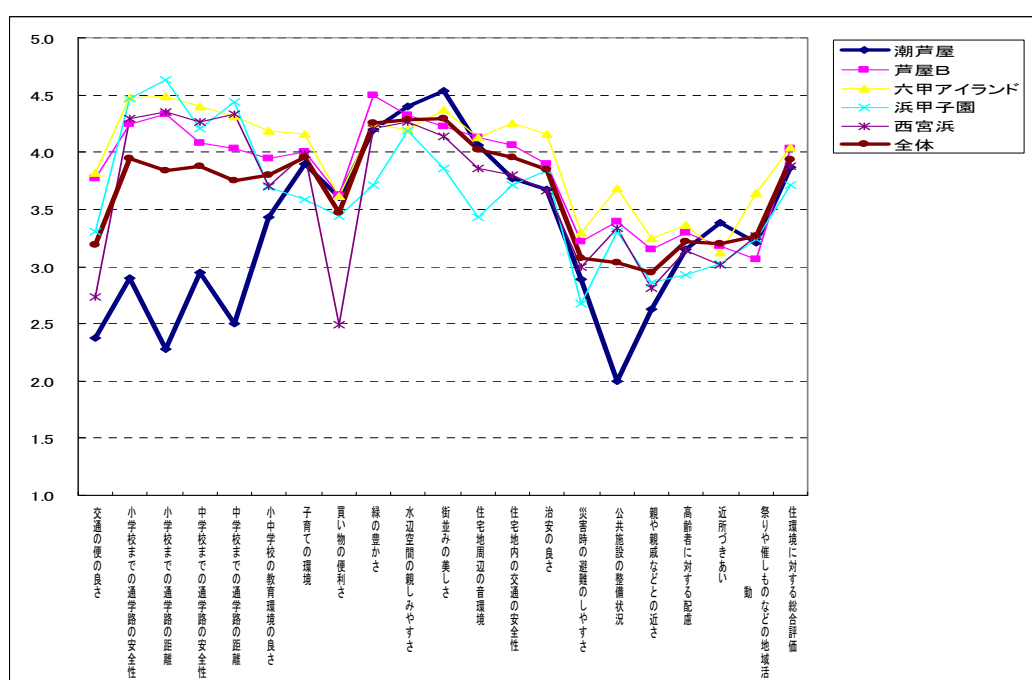
【1】住環境について

〔1-1〕住環境の各項目について、現在の満足度として該当するものを1つ選ばせた。

- ・小中学校生がいない世帯は回答しにくいのか、学校関係の設問で未記入が多い傾向。
- ・項目によって評価は様々であるが、「緑の豊かさ」など自然環境には高い評価がみられる一方で、教育環境は50%程度の人が満足側である。また、公共施設の整備状況など評価が低いものも見られる。
- ・不満と回答した人が目立った項目は、「交通の便」、「買い物の便利さ」、「災害時の避難のしやすさ」などであり、今後まちづくりが進む中での環境整備が望まれる。



次に、[非常に満足]を5点、[満足]を4点、[普通]を3点、[やや不満]を2点、[非常に不満]を1点として地区別に平均をとったものが下図である。この図からは、各地区ともおなじような住環境評価であるものの、とくに<潮芦屋>の「教育環境」や「公共施設の整備状況」に対する評価が非常に低いのが気になる。



次に、＜総合評価＞をその他の項目で説明できるかどうかをステップワイズ法による重回帰分析をおこなった結果が次表である。ステップワイズ法は一つずつ有効な項目を追加していく方法で、今回の分析では7つの項目が説明変数として採用されている。それらの標準化偏回帰係数を比べると、「街並みの美しさ」と「近所づきあい」の値が高く、ハードとソフトそれぞれが総合評価に影響するという興味深い結果となった。それ以外は、交通の便、公共施設の整備状況という上述で述べた項目に加えて、高齢者や子育てという幅広い年齢層に関する項目が挙げられている。

これらのことから、求められる公共施設像としては、

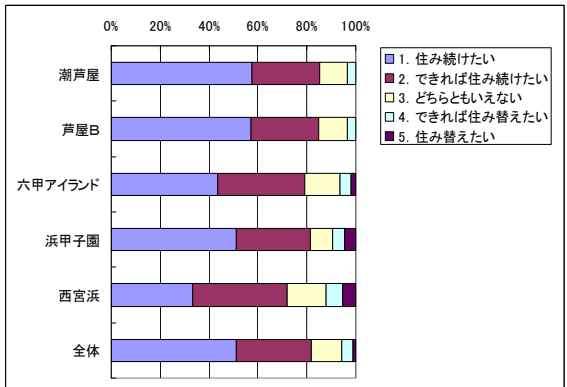
- ・“街並みの美しさ”を実感できるランドマークとなりうる施設
- ・“近所づきあい”を支援するようなコミュニティ施設 → 大学生が集えるか？
- ・高齢者も子育て層も（小学校が遠いことを考えると子供も）近所で集える施設などが考えられる。

***** 重回帰式 *****					
	偏回帰係数	標準誤差	t 値	P 値	標準化偏回帰係数
高齢者に対する配慮	0.1571986	0.03913236	4.0170994	0.00007	0.1681203
街並みの美しさ	0.2510257	0.04033940	6.2228418	0.00000	0.2515601
近所づきあい	0.2201895	0.03574498	6.1600125	0.00000	0.2382314
交通の便の良さ	0.08747472	0.02429399	3.6006731	0.00036	0.1384872
子育ての環境	0.1248062	0.03360722	3.7136710	0.00023	0.1487879
住宅地内の交通の安全性	0.1103000	0.03332772	3.3095575	0.00102	0.1350873
公共施設の整備状況	0.07136845	0.02643419	2.6998534	0.00725	0.1077778
定数項	-0.3290953	0.1156131	2.8465228	0.00466	
t 値の自由度: 382					

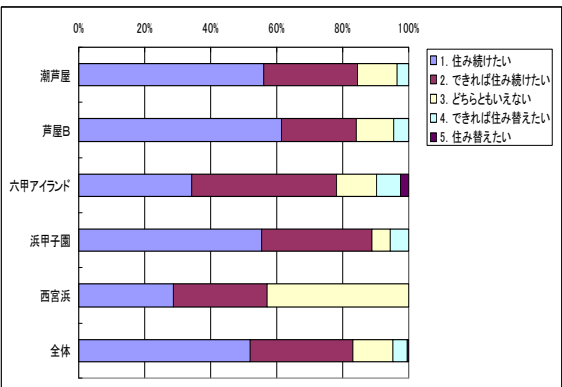
[1-2] 今の地域に今後も住みたいかどうかの意向を尋ねる設問。

- ・各地区はほぼ同じ傾向であるが、潮芦屋が＜住みたい＞の割合が高い傾向にある一方、＜六甲アイランド＞と＜西宮浜＞という＜潮芦屋＞と同じような立地の戸建地区で「住みたい」が少ない。

＜全世帯＞



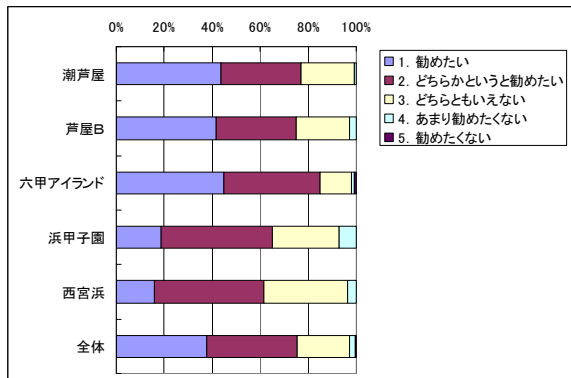
＜戸建のみ＞



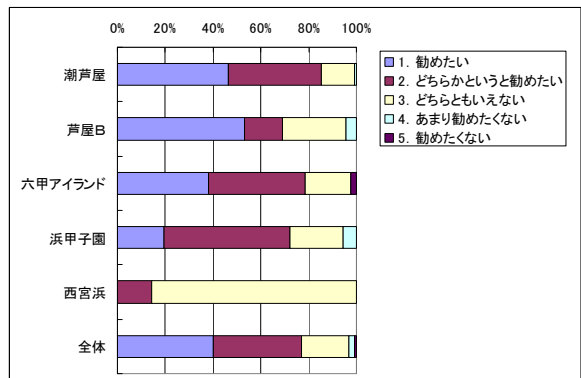
[1-3] 今の地域を若い世帯に勧めたいかどうかの意向を尋ねる設問。

- ・地区によって差異はあるが、基本的に進めたとする回答がどの地区でも多い。

<全世帯>



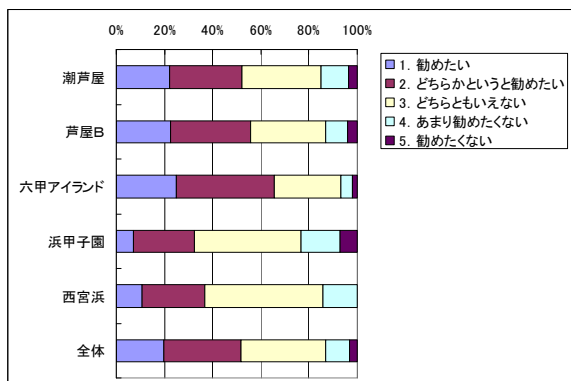
<戸建のみ>



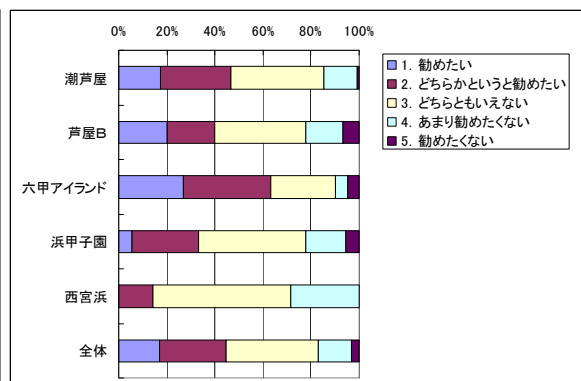
[1-4] 今の地域を高齢者世帯に勧めたいかどうかの意向を尋ねる設問。

- ・ほとんど同じ傾向である。

<全世帯>



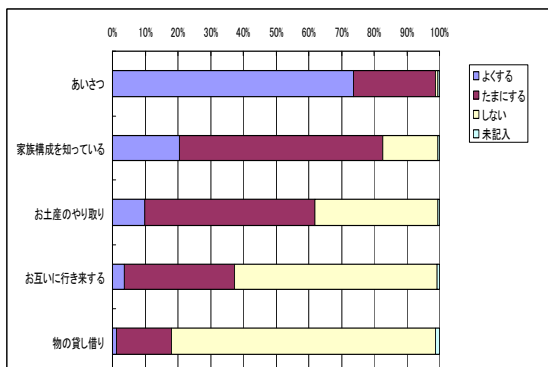
<戸建のみ>



[1-5] ご近所との交流状況について、各項目ごとに当てはまる番号を1つ選択させる設問。

- ・全体の傾向は変わらない。「あいさつ」だけはよくするとの回答は多いが、それ以外の交流については低調である。

<全体>

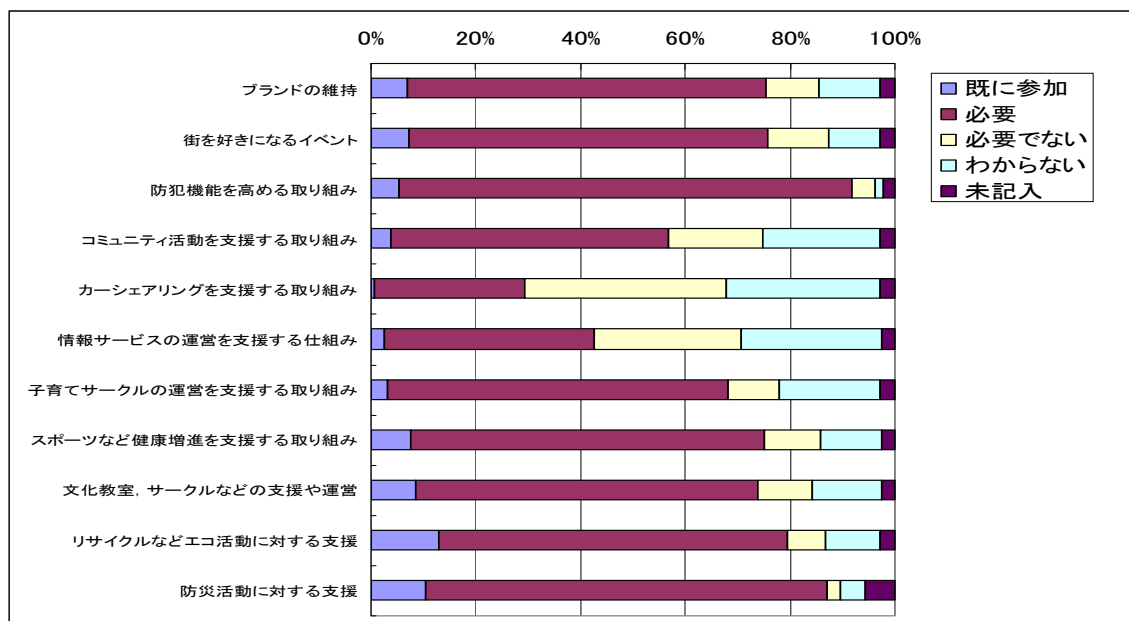


【2】タウンマネジメント

[2-1]タウンマネジメントの取り組みへの回答者の参加状況あるいは必要性の有無を尋ねる設問

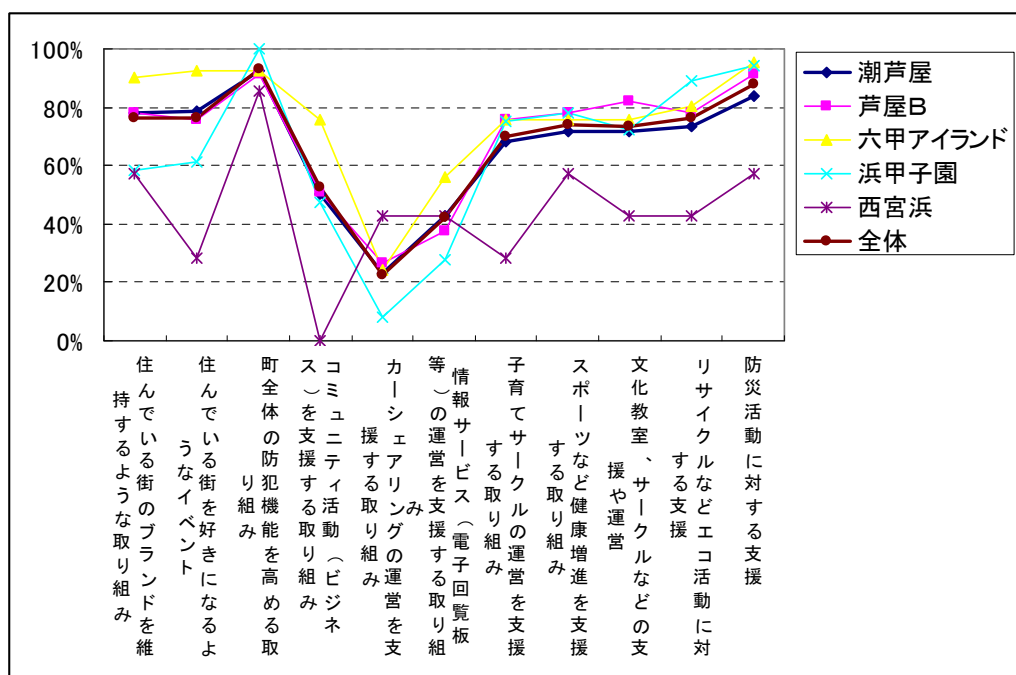
- ・全体として既に参加や必要と考えている回答者が60%を超えている項目がほとんどであるが、「コミュニティ活動支援」はやや少ないし、「カーシェアリング」や「情報サービス」はかなり少ない。
- ・その他の書き込みとしては、「高齢者や子供達の世代間交流の場をつくる」が複数あり。

<全体>



<地区別にみた戸建で、<既に参加>+<必要>の回答割合>

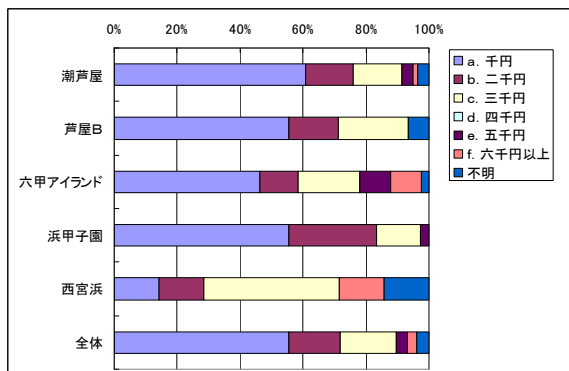
- ・回答者数が少ない地区（西宮浜）は別として、各地区とも同じような傾向である。



〔2-2〕 タウンマネジメントへの費用負担を尋ねる設問

- ・全体、潮芦屋ともに「千円」の回答がかなり多い。
- ・費用負担はあまり考えられないことがわかる。

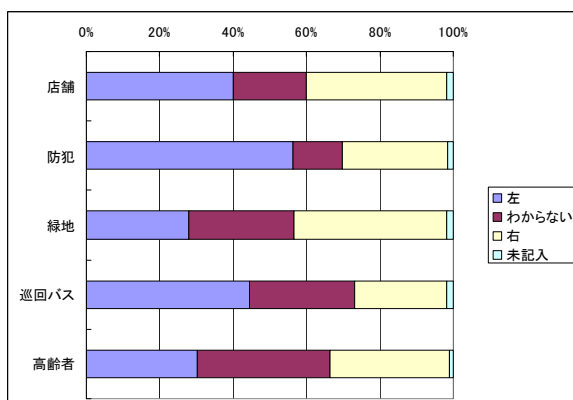
＜地区別の割合：戸建のみ＞



〔2-3〕 住民の取り組みに対する意見を二者択一で求める設問

- ・全体の傾向はほぼ同じである。1の店舗については住宅地内に立地するのをネガティブに考える住民が多い。また、2の防犯は警察に、3の緑地は行政に、4の交通手段もタクシーより巡回バスの方が多いというように、公的機関への他力本願の傾向がやや見られる。5の高齢者対応は、左右の設問共に公的機関ではないので全体と同じ結果になったものと思われる。

＜全体＞

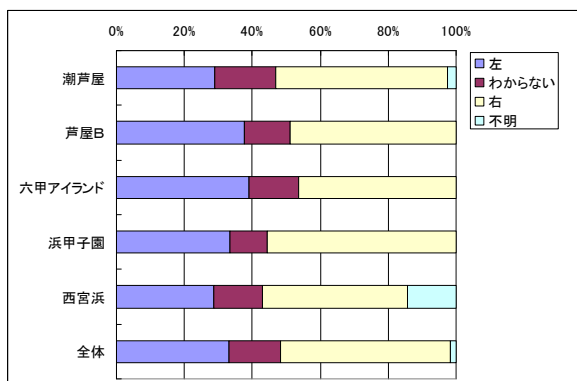


【設問】

左の意見に賛成 わからない 右の意見に賛成

- | | | |
|----------------------|-------------|-----------------|
| 1. 歩ける範囲に、住民が店舗を誘致する | ----- ----- | 住宅地の中に店舗はない方がよい |
| 2. 防犯は住民の意識と行動が重要である | ----- ----- | 警察のパトロールが重要である |
| 3. 公共空間の緑地を住民が維持管理する | ----- ----- | 行政が一律に対応する方がよい |
| 4. 巡回バスを住宅地内外に走らせる | ----- ----- | タクシーなどを使えばよい |
| 5. 住民が高齢者の日常生活を手助けする | ----- ----- | 民間企業のサービスに任せる |

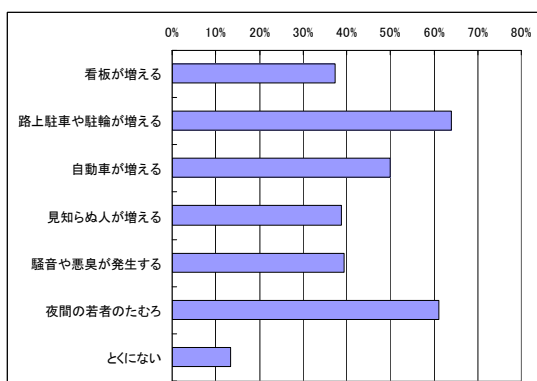
「１．店舗誘致」のみに着目した各地区別の回答割合をみると、潮芦屋は店舗誘致に若干ネガティブである。



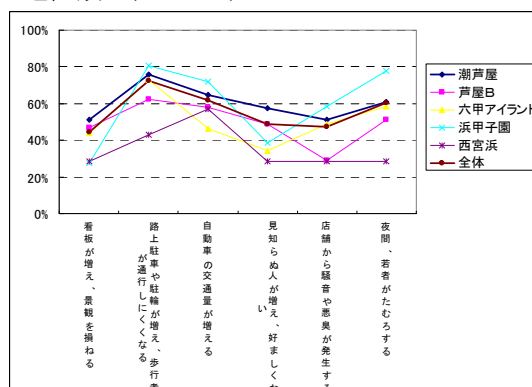
〔2-4〕住民が店舗を誘致した場合の懸念を尋ねる設問（複数回答）

・傾向はいずれも同じようだが、「路上駐車」や「夜間の若者のたむろ」などの回答が多いことから、24時間営業のコンビニなどへの懸念が高いと思われる。

<全体>



<地区別：戸建のみ>

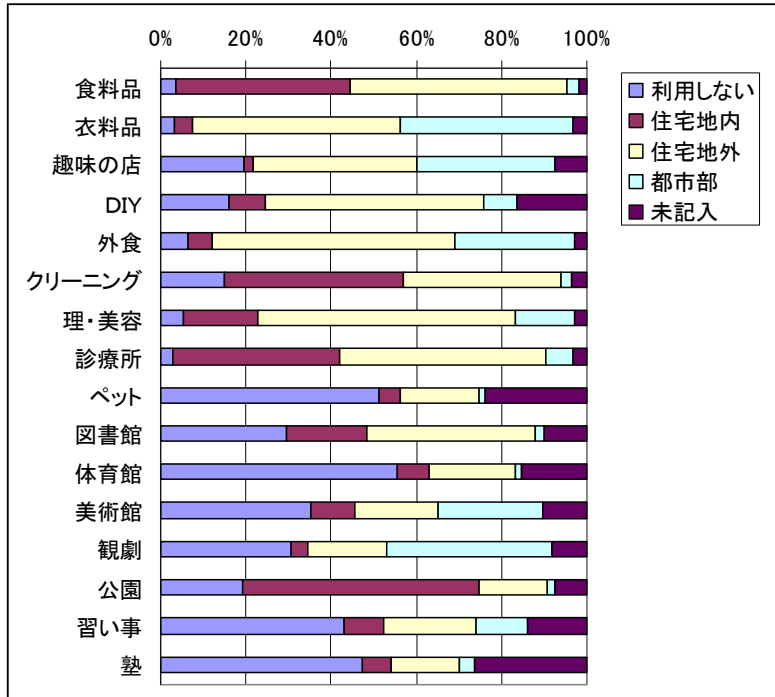


【3】公共施設や商業店舗の利用

[3-1-1] 公共サービスや商品の購買の利用先を尋ねる設問

- ・全体に店舗立地との関係が伺えるが、利用しないと答えられた公共施設が多いことも、今後の整備計画にはより検討が必要であることを示していると思われる。

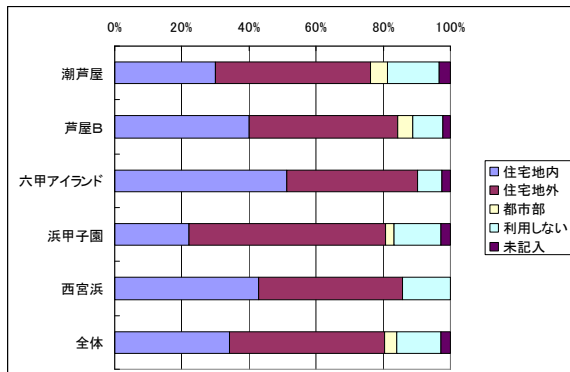
<全体>



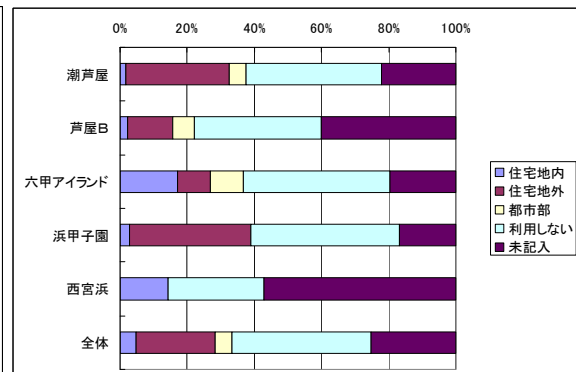
・地区別業種別：戸建のみ

クリーニング店は地区内の利用が少ないので立地の余地があるようにも見えるが、クリーニング店など嗜好が強い業種（衣料品や趣味の店などはさらに強いので住宅地外店舗利用が多い）がただ店舗があるだけが重要ではなく、利用したい会社の店舗が存在することが重要なので新しく立地企画する場合には慎重な検討が必要と思われる。

<クリーニング>



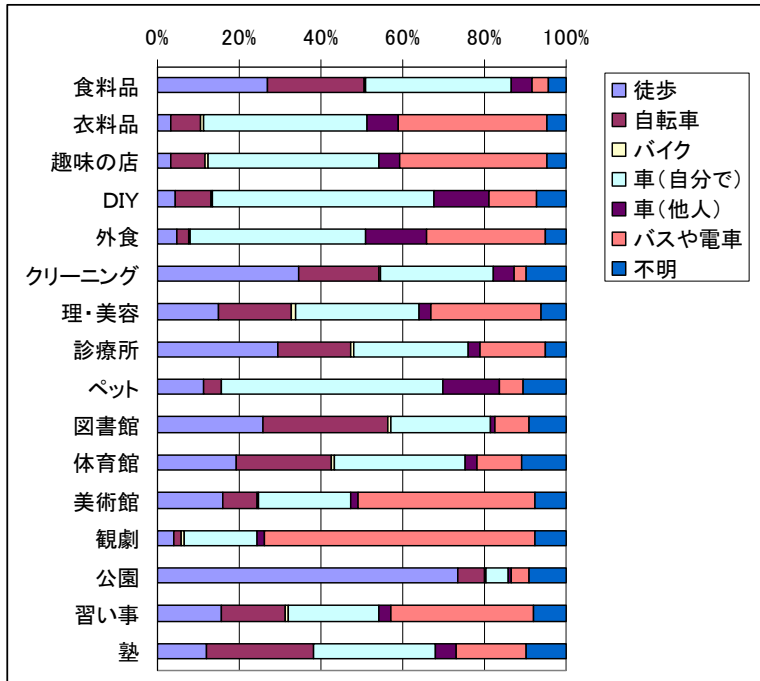
<塾>



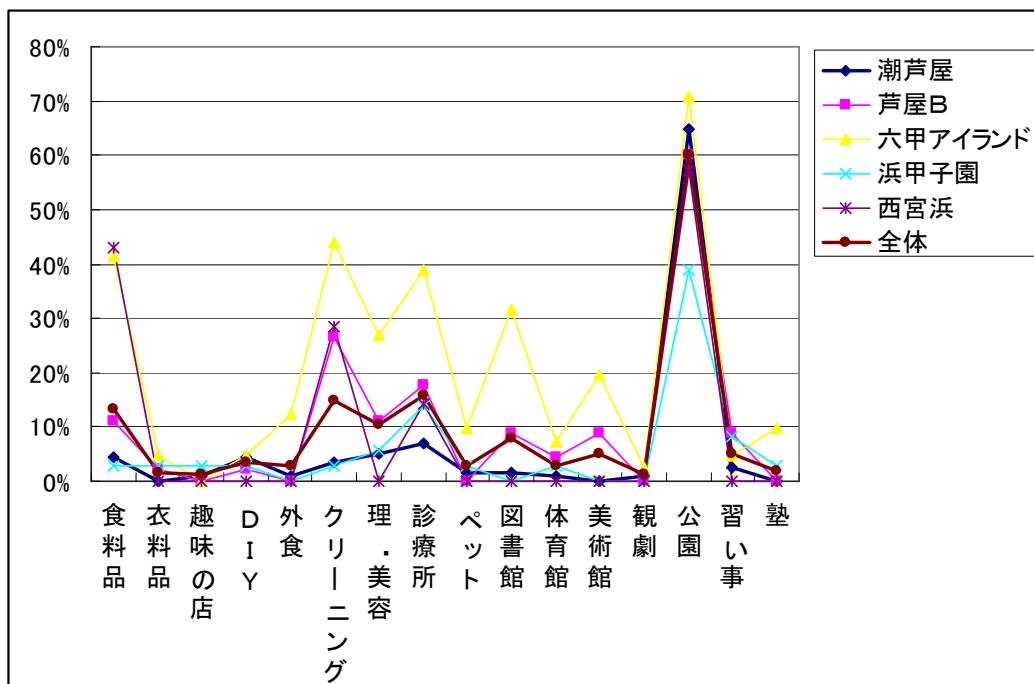
〔3-1-2〕 利用施設までの交通手段を尋ねる設問（利用しない者を除いた割合）

- ・店舗の位置との関連もあり，地区ごとの差異は大きい，「食料品」や「クリーニング店」などは徒歩での利用が多い。

<全体>



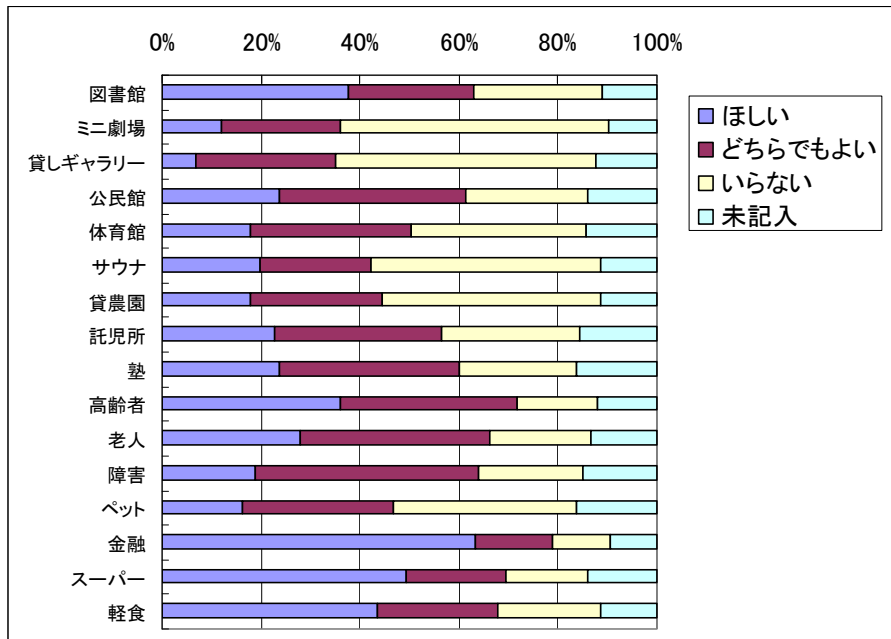
<各地区（戸建のみ）における徒歩のみで利用する者の割合>



〔3-4-1〕 街の中であってほしい施設とほしい場所を訪ねる設問

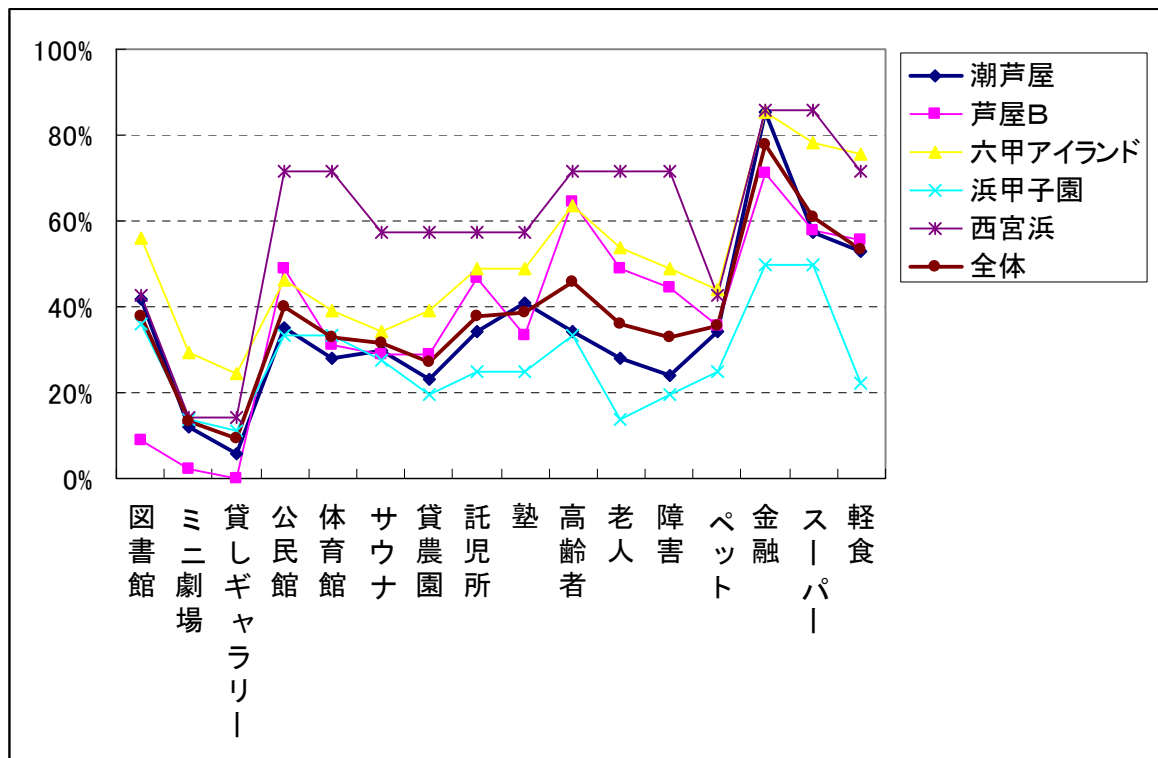
- ・全体に同じような傾向であるが、地区別にみると各地区での状況を反映したのか様々である。

＜全体＞



- ・各地区（戸建のみ）, 「ほしい」のみの回答者の割合

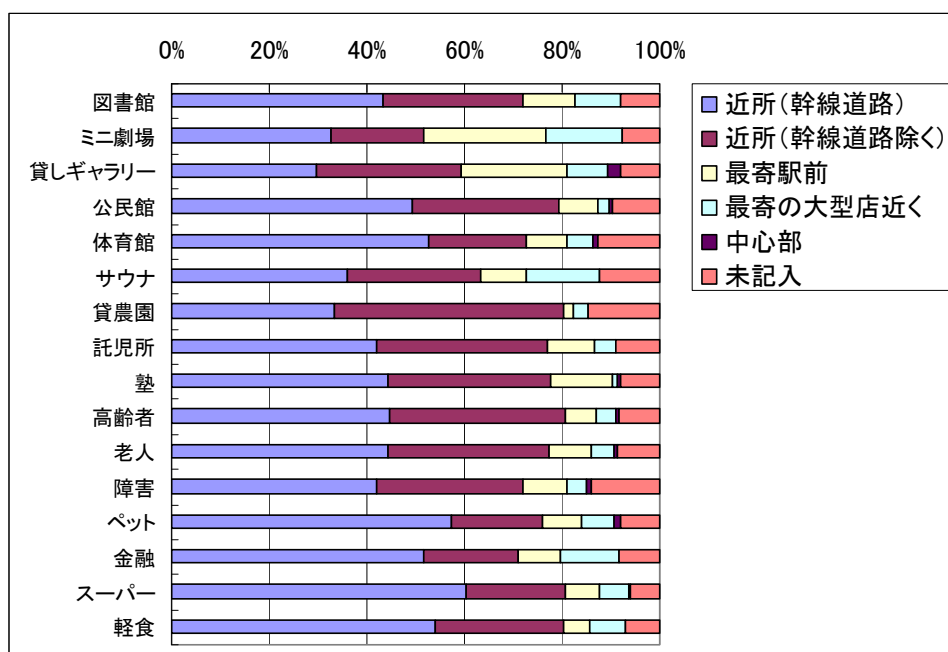
浜甲子園のように既成市街地で各種施設が多いと思われる地区は需要が低調である一方、西宮浜は各種施設がほとんどないのか、需要は全体的に高い。それ以外の地区はそれらの中間の傾向を示している。



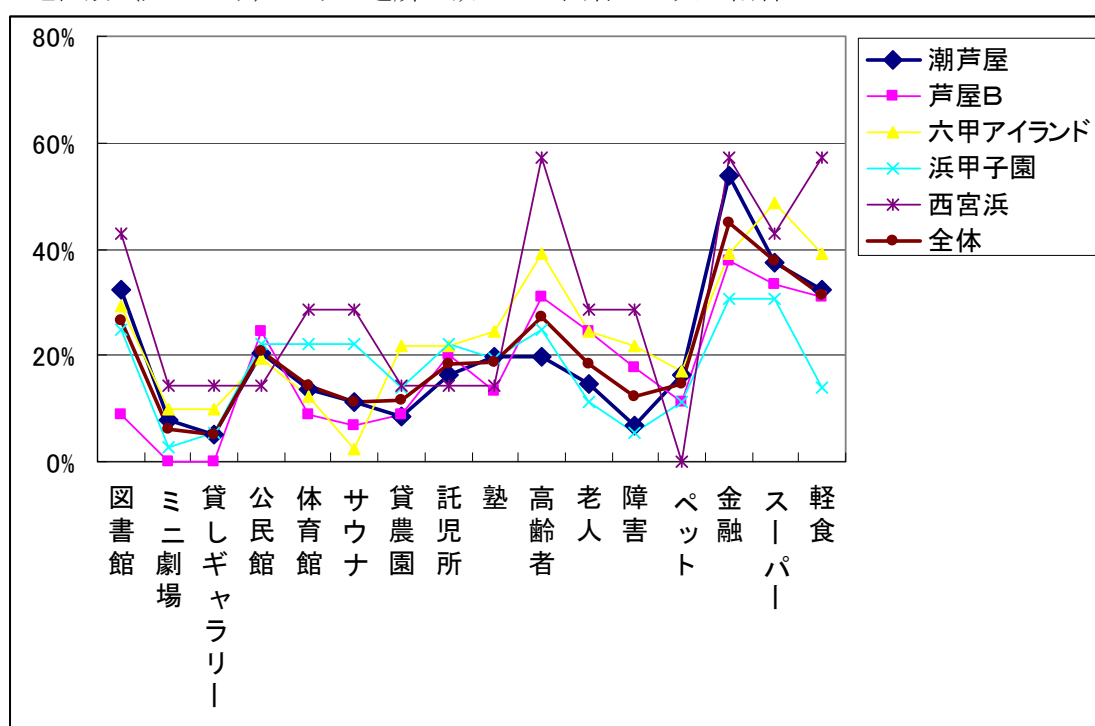
[3-4-2] ほしい施設のあってほしい場所（3-4-1 で“ほしい”と回答した人の中での割合）

- ・全体に同じような傾向にあるが、幹線道路沿いには「スーパー」など、住宅内部には「貸農園」などを望むというように、施設によって意見が異なる。
- ・「図書館」の要望は高いが公共施設としての整備は難しい。また軽食・喫茶の要望も高いとなれば、最近流行している、ブックカフェのような本を読める空間づくりもありかと思われる。

<全体>



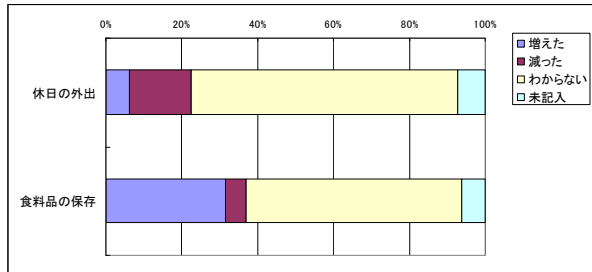
<地区別（戸建のみ）にみた近所に欲しいと回答した人の割合>



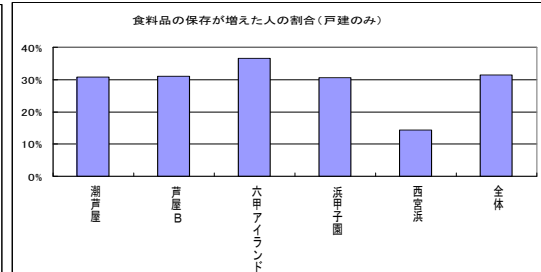
[4-3-2] 2011 年の大震災以降の生活で心がけている事項について（２）

- ・「食料品の備蓄」については関心が高いようである。その地区別の結果を見ると戸建では約３割の方が増えたと回答している。

<全体>



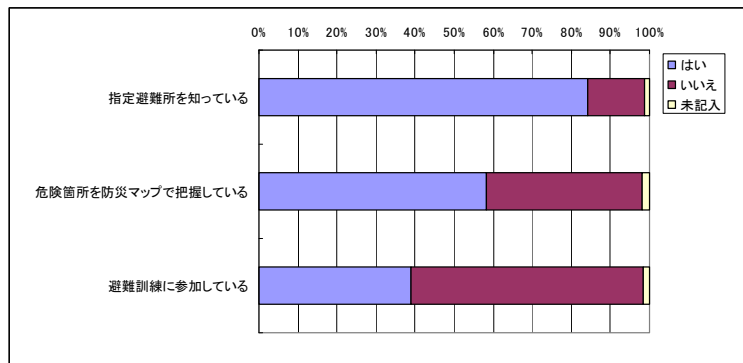
<地区別>



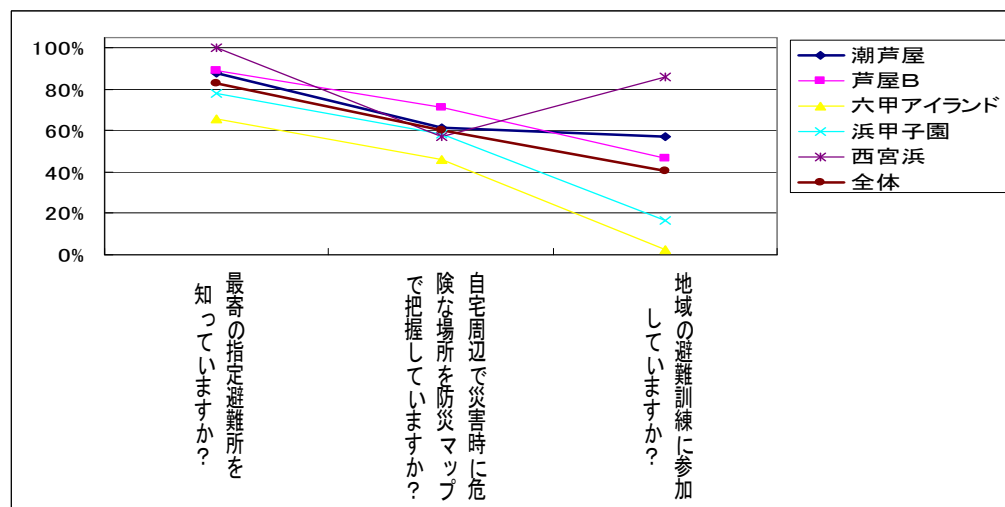
[4-4] 災害への対策として、それぞれあてはまる番号一つを回答してもらった。

- ・「避難指定場所」を知っている回答者は多いが、「防災マップ」を見たり、「避難訓練に参加する」など積極性のある住民は半数程度である。とくに「避難訓練に参加する」については地域差が大きいことがわかる。

<全体>



<地区別>



以上